

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022 年 1月 14日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう高木2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	3		公文学習時など、部屋を区切れても良いのではないかと。12人以上くらいになると、スペースを保つのに工夫がいる。
	②	職員の配置は適切である	4	2		手厚く支援をしないといけない子がいる時は不足を感じることもあるが、連携を取りながら支援に当たっている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	4	2		手洗い、うがい、手指消毒の徹底をしている。室内の清掃、手の触れる部分の次亜塩素酸での消毒をしている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	2	4		職員間での意識の差があるが、意識統一を図るため、ミーティング・研修を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	3	3		カンファレンス時に保護者様のご意見を共有し、改善点を話し合い、支援をする際に役立てている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	2	4		結果を集計し、ホームページに掲載している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	3	3		毎朝のミーティングでタイムリーに児童や保護者様の様子を共有している。定期的に研修を実施している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	3	3		契約時にアセスメントをこまめに行うようにしている。半年に1回のモニタリングのほかにも、日ごろから児童の様子を保護者様と連携し、職員間でカンファレンスを行い、計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	6			その日にマッチした活動内容を精査し、職員間でミーティングにより決定している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	5	1		同じものを繰り返すばかりではなく、新しいものも積極的に取り入れ、挑戦していく。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	3	3		コロナ禍ではあるが、できることを工夫しながら実施している。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	3	2	1	職員が一人一人に対し特性を理解したうえで個別活動・集団活動を織り交ぜながら工夫した内容を提案できるよう心掛けている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎朝のミーティングにより、役割分担、支援で気を付けていくべきことについて話し合いをしている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2		その日の様子をつぶさに分かるよう記入するよう心掛けている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5	1		半年に一度のモニタリング、カンファレンスにより、見直すべき課題について話し合っている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	3	3		実施できるよう心掛けているが、更なる工夫が必要。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	1		下校時刻表を毎月早めに頂き、送迎表の作成をしている。 急な変更に関しては、その都度連携を取りながら実行している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	3	2	1	主に電話で情報共有をしている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	3		情報を共有するよう努めている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		発達支援部会への参加など、連携を取っている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	2	4		連絡帳や電話等でこまめに連携を取ってはいるが、より細やかにしていく必要がある。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	1		契約時に説明をするが、より分かりやすく伝えられるよう心掛けたい。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	4	2		職員全員がより良きアドバイザーとなれるよう、日ごろから研鑽が必要。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している		5	1	コロナ禍のため、不十分。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2		何か起きたらタイムリーに対応し、保護者様から不信感を持たれないよう丁寧に対応を心がけている。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5	1		夢だより、ブログなどでの発信をしている。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5	1		写真などの取り扱い、秘密厳守を職員全員で徹底している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		個別での声掛け、視覚支援など、丁寧にしていくことを心がけている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	5		1	コロナ禍のため、不十分。
非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	1		マニュアルを定期的に読み返し、意識して業務に当たれるようにしている。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4	2		定期的に行っている。
	㉒	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			研修を定期的に行い、適切な対応ができるよう徹底している。
	㉓	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	2	4		契約時に説明を必ずしている。
	㉔	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6			昼食後の予約が必要な児童に関しては、保護者様に与薬表の準備をお願いし、薬と一緒に預かりしている。服薬後は空の袋と一緒に職員が表にサイン(ダブルチェック)し、服薬できたことを確認している。
	㉕	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6			小さなケースでも、職員全員で周知した方がよい内容は積極的に書いてもらい、支援に役立てている。ミーティングでの共有をしている。